

PVM—V&V プロセスでのシームレスなデータ交換

【計測データが主役】

データが主役の時代が到来しました。新聞や雑誌では毎日のように”ビックデータ”、”IoT”、”AI”といったキーワードを目にします。

製品開発において、最も重要なプロセスであるV&V（検証と妥当性確認）で生み出される実験データの重要性も日々高まっております。しかし、現在、多くの企業がこのV&Vのデータ活用に下記の課題を抱えています。

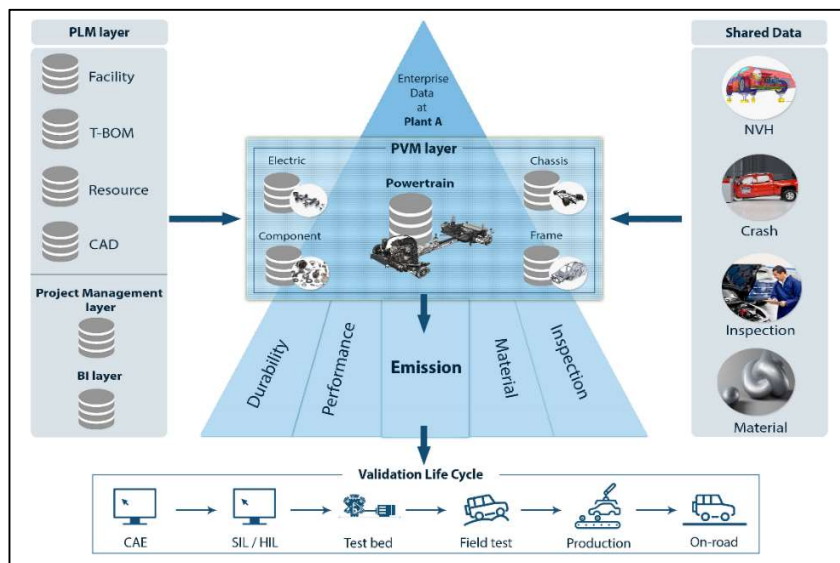
課題1. テストデータが標準化されていないこと

課題2. テストデータを活用するために多くの時間がかかること

これらの問題を解決できれば、開発期間は大幅に短縮され、製品の競争力も増すことでしょう。そこでPVMSys Infra Solution社は、Product Validation Management (PVM)という斬新なソリューションを提供しています。

【PLMを補完するPVM】

現在、多くの企業の製品開発プロセスは、一般的にProduct Lifecycle Management (PLM)というツールにより管理されています。PLMは、文書やテキストデータを主に扱います。





一方、開発の V&V プロセスは、複雑なエンジニアリングデータや様々なツールからなり、互換性がないデータ形式の処理は非常に困難なのが実情です。

PVMSys 社が提供する PVM 統合プラットフォーム(製品名:BRIX シリーズ)は、この問題を解決できます。このプラットフォームは、OSGi に基づいたコンポーネント技術と多層の構造から成ります。PVMSys 社はモデルベース開発 (MBD) やモデルベースシステムズエンジニアリング (MBSE) の基盤を提供し、エンジニアが様々なデータソースからのデータをシームレスに保存したり、サードパーティ製の解析ツールやシミュレーションツールに渡したりする事を可能にします。計測データを IT システムにより高度活用した新たな製品開発の仕方を支援します。

PLM はマクロレベルプロセスに注目しているのに対して、PVM はマイクロレベルプロセスに注目しています。マイクロレベルでのデータ活用の流れが広まってきている現在、計測データを再利用する際の標準化をいち早く取り入れた企業が、業界を牽引する力を手にすることでしょう。

【PVMSys 社の強み】

PVMSys 社が、他社には真似できない最善のソリューションを提供できるのは、3つの強みがあるからです。

1. エンジニアリング業界での 15 年の経験
2. 世界の自動車会社での実績
3. V&V プロセスの業務内容や使われているツールに対する理解

さらに、BRIX に関しては、エンジニアリングデータ管理の国際基準(ASAM)に準じているという強みも加わります。